

令和元年度
周南市こども議会
【 会 議 録 】

令和2年1月31日
周南市教育委員会

令和元年度 周南市子ども議会 議事日程（第1号）

令和2年1月31日（金曜日） 午後1時30分開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 一般質問

議長

周南市議会 小林 雄二 議長

出席議員（29名）

| | | | |
|--------|--------|-------------|----|
| 菊川小学校 | 高橋 葵 | たかはし あおい | 議員 |
| 菊川小学校 | 重國 晃生 | しげくに こうき | 議員 |
| 菊川小学校 | 小川 七夢 | おがわ ななみ | 議員 |
| 菊川小学校 | 白川 亜沙美 | しらかわ あさみ | 議員 |
| 菊川小学校 | 清木 美来 | せいき みき | 議員 |
| 岐山小学校 | 伊藤 結彩 | いとう ゆい | 議員 |
| 岐山小学校 | 濱田 美優 | はまだ みゆ | 議員 |
| 岐山小学校 | 室園 笑里 | むろその えみり | 議員 |
| 岐山小学校 | 福山 留々菜 | ふくやま るるな | 議員 |
| 岐山小学校 | 山根 瑛太 | やまね えいた | 議員 |
| 須磨小学校 | 福本 常葉 | ふくもと ときわ | 議員 |
| 須磨小学校 | 福田 りさ | ふくだ りさ | 議員 |
| 須磨小学校 | 須田 莉々子 | すだ りりこ | 議員 |
| 須磨小学校 | 一色 優音 | いっしき ひろと | 議員 |
| 福川南小学校 | 福江 百花 | ふくえ ももか | 議員 |
| 福川南小学校 | 岩崎 幸羽 | いわさき ゆきは | 議員 |
| 福川南小学校 | 石田 悠雅 | いしだ ゆうが | 議員 |
| 福川南小学校 | 阿部 和希 | あべ かずき | 議員 |
| 福川南小学校 | 藤井 美優 | ふじい みひろ | 議員 |
| 八代小学校 | 高原 水晶 | たかはら みずき | 議員 |
| 八代小学校 | 吉積 洸汰 | よしづみ こうた | 議員 |
| 八代小学校 | 徳本 愛優 | とくもと あゆ | 議員 |
| 八代小学校 | 中村 碧希 | なかむら ひなき | 議員 |
| 周陽小学校 | 友森 美莉愛 | とももり みりあ | 議員 |
| 周陽小学校 | 生駒 純一朗 | いこま じゅんいちろう | 議員 |
| 周陽小学校 | 沖本 明子 | おきもと あきこ | 議員 |
| 周陽小学校 | 松井 璃子 | まつい りこ | 議員 |
| 周陽小学校 | 清水 実緒 | しみず みお | 議員 |
| 周陽小学校 | 中井 由佳 | なかい ゆか | 議員 |

説明のため出席した者

| | | | |
|-----------------|----|----|---|
| 市 長 | 藤井 | 律子 | 君 |
| 副 市 長 | 佐田 | 邦男 | 君 |
| 教 育 長 | 中馬 | 好行 | 君 |
| 上下水道事業管理者 | 渡辺 | 隆 | 君 |
| モータースポーツ競走事業管理者 | 山本 | 貴隆 | 君 |
| 監 査 委 員 | 中村 | 研二 | 君 |
| 政策推進部長 | 中村 | 和久 | 君 |
| 行政管理部長 | 山本 | 敏明 | 君 |
| 財 政 部 長 | 道源 | 敏治 | 君 |
| 地域振興部長 | 原田 | 義司 | 君 |
| 環境生活部長 | 橋本 | 哲雄 | 君 |
| 福祉医療部長 | 山本 | 英樹 | 君 |
| こども健康部長 | 中村 | 広忠 | 君 |
| 経済産業部長 | 弘中 | 基之 | 君 |
| 建 設 部 長 | 中村 | 一幸 | 君 |
| 都市整備部長 | 有馬 | 善己 | 君 |
| 中心市街地整備部長 | 重岡 | 伸明 | 君 |
| 新南陽総合支所長 | 上杉 | 方治 | 君 |
| 熊毛総合支所長 | 渡辺 | 由也 | 君 |
| 鹿野総合支所長 | 潮田 | 誠 | 君 |
| 消 防 長 | 村野 | 行徳 | 君 |
| 上下水道事業管理者 | 渡辺 | 隆 | 君 |
| 上下水道局副局長 | 井筒 | 守 | 君 |
| 教 育 部 長 | 久行 | 竜二 | 君 |

議会事務局職員出席者

| | | | |
|--------|----|----|---|
| 議会事務局長 | 藤田 | 真治 | 君 |
|--------|----|----|---|

○議長

皆さんこんにちは。周南市議会議長の小林雄二です。開会前に一言ご挨拶を申し上げます。

皆さんがおられるこの場所が、周南市議会の議場です。今日はここで、学校で学習した議会のことや政治の仕組みなどを体験していただきます。

この議場は、市民の皆さんから選ばれた市長や市議会議員が、周南市のまちづくりのことを議論し、そして、決定する大切な場所です。

今日は、皆さんが市議会議員の議席に着き、こども議員となって質問や提言をしっかりとしてください。大いに期待をしております。

市長や、市役所で市民のために仕事をされている職員の皆さんからも、真剣にお答えがいただけるものと思います。今日は、どうぞよろしく願いいたします。

続いて、市長からあいさつがあります。

◎市長

皆さん、こんにちは。市長の藤井律子です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の「こども議会」では、こども議員の皆さんが学校で勉強したことを、提案という形で発表していただきます。皆さんの熱い思いのこもった質問や提案に対して、私もしっかりとお答えをしようと思っています。

そして、本日の皆さんの意見や提案のうち、できることは、しっかり市政に反映していきますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。

○議長

続いて、副市長から順次、理事者の自己紹介をお願いいたします。

◎副市長

副市長の佐田です。市長のサポートをしています。よろしくお願いいたします。

◎行政管理部長

行政管理部長の山本敏明です。市民の安心安全を守る防災対策の仕事をしています。今日はどうぞよろしく願いいたします。

◎地域振興部長

地域振興部長の原田義司と申します。文化、スポーツ、観光、そして、地域のイベントなどの地域づくりを担当しております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

◎政策推進部長

政策推進部長の中村和久と申します。私の仕事は、皆さんが住んでいるこの周南市をより良いまちにするために、まちづくりの大きな目標を立て、そのいろいろな点検をしています。もう一つは、市民の皆さんにまちづくりの情報を発信しております。また、併せて日本はもちろん、全世界に向けて、この周南市のことを知ってもらい、好きになってもらい、興味を持ってもらう、こうした仕組みづくりを行っています。本日はどうぞよろしく願いいたします。

◎財政部長

こんにちは。財政部長の道源敏治でございます。財政部では、市民の皆さんから頂く税金をまちづくりに必要な仕事に配分する仕事をしています。本日はよろしく願いいたします。

◎福祉医療部長

福祉医療部長の山本英樹と申します。私の仕事は、高齢者や障害者、生活に困っている人の支援、そして、地域医療の充実に取り組んでいます。本日はよろしく願いいたします。

◎こども健康部長

こんにちは。こども健康部長の中村です。私は子ども、子育てのこと、それから市民の健康を守る仕事をしています。本日はよろしくお願いいたします。

◎環境生活部長

皆さんこんにちは。環境生活部長の橋本哲雄です。私の仕事は、ゴミの処理、野犬対策、空き家対策、交通安全などの仕事を担当しております。本日はよろしくお願いいたします。

◎消防長

火災や救急などへの対応を担当しております、消防長の村野行徳と申します。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◎経済産業部長

皆さんこんにちは。経済産業部長の弘中基之です。経済産業部では、商業、工業、農業、林業、水産業等の産業振興と、それから、動物園の管理運営を担当しております。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◎建設部長

建設部長の中村です。道路や河川、住宅をきちんと維持管理することで、皆さんが安心して暮らせるまちをつくる、そういう仕事をしています。どうぞよろしくお祈いいたします。

◎都市整備部長

皆さんこんにちは。都市整備部長の有馬と申します。都市整備部では、公園や道路、市街地の整備などのまちづくりを担当しております。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◎中心市街地整備部長

中心市街地整備部長の重岡申明です。私の仕事は、徳山駅の周りを賑やかにする仕事をしています。本日はどうぞよろしくお祈いいたします。

◎教育長

小学校、中学校のお世話をさせていただいております、教育長の中馬好行と申します。今日は皆さんの日頃の思い、願い、そういうものをしっかりと聞かせていただくことを本当に楽しみにしています。どうぞよろしくお祈いいたします。

◎教育部長

教育部長の久行竜二と申します。教育長のサポートをしながら、学校や図書館などの教育に関する仕事を担当しております。本日はどうぞよろしくお祈いいたします。

◎上下水道事業管理者

水道事業と下水道事業を経営しております、上下水道事業管理者の渡辺と申します。今日はどうぞよろしくお祈いいたします。

◎上下水道局副局長

上下水道局の副局長をしております、井筒と申します。上下水道事業管理者のサポートをしております。どうぞよろしくお祈いいたします。

◎モーターボート競走事業管理者

モーターボート競走事業管理者の山本貴隆と申します。ボートレース徳山を経営しております。ボートレースの収益が、皆さんの子どもの医療費の助成や学校のエアコンの設置に役立っております。本日はどうぞよろしくお祈いいたします。

◎監査委員

周南市代表監査委員の中村健二です。周南市のお金や財産が正しく使われているか、厳しくチェックをしております。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◎新南陽総合支所長

皆さんこんにちは。新南陽総合支所長の上杉でございます。新南陽の地域のまちづくりを担当しています。本日はよろしくお願いいたします。

◎熊毛総合支所長

皆さんこんにちは。熊毛総合支所長の渡辺由也です。私は、熊毛地域の安心安全まちづくりを担当しております。本日はよろしくお願いいたします。

◎鹿野総合支所長

皆さんこんにちは。私は、鹿野総合支所長の潮田誠と申します。鹿野地域全域のまちづくりを担当しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

◎議会事務局長

最後になりましたが、議会事務局長の藤田です。皆さん今日はどうぞ楽しんでください。

午後1時40分開会

○議長

ただいまから、令和元年度周南市こども議会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、重國晃生議員、中井由佳議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長

日程第2、会期の決定を議題といたします。お諮りします。

こども議会の会期は、本日1日間としたいと思っております。これに、ご異議ありませんか。

【 議員から、「異議なし」と呼ぶ者あり 】

○議長

ご異議なしと認めます。こども議会の会期は、本日1日間と決定いたしました。

日程第3 一般質問

○議長

日程第3、一般質問を行います。

こども議会における一般質問は、6つのグループに分かれて行います。

各グループの一般質問は、まず、議員の代表者が「周南市の未来像」を発表いたします。次に、各議員から「自分ができること」、「学校や地域でできること」などを発表いたします。それを踏まえて、市長に対して、議員の代表者から質問や提言があります。

議会では、本来、資料等は用いず、発言だけで議論を進めることが原則であります。

しかしながら、本日、こども議員の皆さんが、これまでの学習の成果を示すため、また、市長

や理事者にわかりやすく説明するため、資料等を用意しているグループについては、事前に私の方でその内容を確認いたしておりますので、資料の持ち込みを許可いたします。

それでは、菊川小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 菊川小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第1番、菊川小学校

高橋葵議員、重國晃生議員、小川七夢議員、白川亜沙美議員、清木美来議員。

◆重國晃生議員

菊川小学校6年の重國晃生です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

ぼくたちは、「周南市のよさを発信し、笑顔あふれる、まちにするために」というテーマで提案します。ぼくは周南市が大好きです。周南市は、自然豊かで周南市唯一の国の指定である和田地区の三作神楽をはじめ、貴重な伝統文化がたくさんあります。しかし、年々若者の人口が減りつつあるとともに、周南市の伝統文化を知らず、周南市の魅力に気付いていない人が増えていると感じています。

そこで、周南市のよさを発信し、たくさんの人が集まるまちにしたいという意見が多く出され、このテーマが決まりました。このテーマをめざして私たちができることを考えたので発表します。

ぼくはそのために、周南市のよさや魅力について進んで学びます。

◆白川亜沙美議員

菊川小学校6年の白川亜沙美です。私は、そのために、周南市のよさを家の人や地域の方に積極的に伝えます。

◆清木美来議員

菊川小学校6年の清木美来です。私は、そのために、地域や市が主催する行事に、積極的に参加します。

◆高橋葵議員

菊川小学校6年の高橋葵です。私は、そのために、伝統文化に関心をもって学んでいきます。

◆小川七夢議員

菊川小学校6年の小川七夢です。私は、そのために、周南市の歴史や周南市の紹介がされている本を読んで、周南市のよさに触れるようにします。

◆清木美来議員

私たちのテーマである、「周南市の良さを発信し、笑顔があふれるまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、菊川小学校でできることについて発表します。それは、紙芝居を作り、他の学年に発表することです。周南市の伝統文化について調べて紙芝居を作ることによって、周南市のことをもっと知ることができると思います。

さらに、作った紙芝居を他の学年の人たちへ発表することで、自分たちの理解も深まり、他の学年の人にも、周南市の伝統文化に興味をもってもらえると思います。

◆重國晃生議員

次に、学校と地域が協力してできることについて発表します。

それは、健康大会を開催することです。市民センター主催の「ふるさとウォーク」で地域を散

策し、周南市の伝統文化について学びながら歩きます。周南市の特産品を使った料理をふるまい、お店を出したり伝統文化に関するクイズを出したりします。子どもから大人まで一緒に歩きながら楽しく周南市のよさを再発見できると思います。

◆高橋葵議員

私たちは、周南市のよさをアピールすることで、周南市を盛り上げたいと考えています。そこで、市長に提案します。

1つ目が、駅周辺の空き店舗をリフォームし、周南市のよさを知ることができる施設をつくってほしいということです。1階は、三作神楽の体験ができたり、映像が見られたりする場所を設けます。2階は周南市のなぞときクイズができる場所を設けます。3階は、周南市の特産物を使った料理が食べられるレストランにします。また、駅に近いので、他県からのお客さんもたくさん来ていただくことができると考えました。

◆小川七夢議員

2つ目が、各地域の「ふるさとウォーク」への参加対象枠を市内全体に広げるなどの周南市の伝統文化に触れることのできるイベントを企画するという事です。イベントにすると、子どもから大人まで楽しく周南市のよさを知ってもらえ、地区外からの参加者にも地域のことを知ってもらえると考えました。

◆白川亜沙美議員

3つ目が、徳山大学などに依頼して、周南市のよさを知ることができるマンガを作ってほしいということです。だれもが楽しめるマンガを作ることで、若者や他県の人に周南市のよさをPRできると考えました。

いかがでしょうか。以上3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

菊川小学校の皆さんから、周南市の良さを市内外に発信し、人が集い笑顔あふれるまちになるためのご提案をいただきました。

とても素晴らしい意見だと思います。今ある問題にしっかり向き合って、真剣に考えてもらっていることを、大変うれしく思います。

今、全国のまちで人口減少が大きな問題となっており、周南市でも、昭和60年、1985年をピークに人口減少が続いています。

こうした人口減少社会においても、周南市の良さを市内外に発信する「シティプロモーション活動」に取り組むことにより、まちへの誇りであるシビックプライドの醸成を図ることとしています。

皆さんのご提案である、国指定重要無形文化財である三作神楽をはじめ、地域の伝統文化などを体験できる施設を整備することは、周南市の魅力を知ってもらうきっかけになる、とても夢のある提案だと思います。

その上、提案で意思決定は1階から3階に、それぞれ、見る、聞く、考える、食べると、周南市の良さを体験できる、本当にいろいろな可能性を含んでいると思います。

ただ、施設を建設するためには、非常にたくさんの予算が必要となりますので、まずは、今の市の施設などで皆さんの提案が生かせないか検討してみたいと思います。

次に、周南市の伝統文化に触れることのできるイベントの企画についてのご提案ですが、皆さんの発言にもあったように、市内の様々な地域でイベントが実施されています。

周南市としては、歩きながら地域の良さに触れることができるイベントとして、各地でふれあいウォークを実施するとともに、地域の伝統文化に触れることができるイベントとして、郷土伝統芸能大会などを実施しているところです。今後も、皆さんからの提案をしっかりと生かしてい

きたいと思います。

また、周南市の伝統・文化について、多くの人に関心をもってもらうことのできるマンガの作成は、効果の高い情報発信のツールとなると思います。周南市ではこれまでも公共施設の老朽化への取組や周南コンビナートで生み出される水素の活用などについて、マンガを通じてお知らせしてきました。

周南市の伝統文化を若者に知ってもらうためにマンガを活用することについては、徳山大学との連携も含めて検討してみたいと思います。

それでは、担当部長から補足回答をさせます。

◎地域振興部長

私の方から、少し補足の回答をさせていただきます。夢のある楽しいご提案ありがとうございました。

最初に、三作神楽を体験できる施設ということで、市長も申し上げましたように、すぐに施設を作っていくというのは、なかなか難しいのですが、今ある施設、例えば、2年前にオープンいたしました徳山駅前図書館は、年間約200万人の方々が訪れる施設なので、ここを活用することはできないかなと思っております。ご存知だと思いますけども、駅前図書館の2階の入り口には大きなディスプレイがありますし、その前にはちょっとしたイベントができるようなスペースもあります。そういったところを活用できないか。一昨年ですけども、このイベントスペースのところで三作神楽を披露していただいたという実績もございます。今後、こういった施設を使いながら、三作神楽をはじめ、市のいろいろな伝統芸能、そういったものの情報発信にも努めてまいりたいと考えております。

それから2点目の伝統文化に触れることのできるイベントの企画ということでございますけども、今、菊川地区でもふるさとウォークをやっていらっしゃるということでございますけども、市ではございませんけども、市の観光等のPRをしている観光コンベンション協会というのがあります。ここの団体が議員のご提案のような市内の歴史や伝統文化、そういったものを見たり体験したりする「ふれあいウォーク」というイベントやっております。市内には神社、お寺など歴史的なものはたくさんありますけども、観光ボランティアガイドという方がついて案内するというツアーでございます。こうした「ふれあいウォーク」の内容を、議員ご提案の内容も含めて充実させて、市内外の皆さんに周南市のいろいろな歴史や文化伝統そういったものをPRしていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

それから最後に3点目のPRマンガの作成ということでございます。伝統文化についてマンガによってPRするというところでございますけども、さきほど市長が申し上げましたように、市におきましては、これまでもマンガを使って若い人にいろいろなPRをしてきたという実績もございます。非常に良い方法ではないかなと思っておりますので、検討してみたいと思っております。

○議長

菊川小学校のこども議員の皆さんに申し上げます。質問時間が残り少なくなりましたが、本日は、特にこども議員の皆さんが学校の授業の中で学習したり考えたりした成果を発表する場でもありますので、一般質問を続けていきます。なお、理事者におかれましては各学校質問時間15分となっておりますので、簡潔で明解な回答に心がけていただきますようお願いをいたします。

再質問はありませんか。

◆白川亜沙美議員

市が経営する建物を利用する人たちを対象に、割引券を配布することは可能でしょうか。

◎中心市街地整備部長

皆さんから頂いた施設を利用する割引券を配布するというアイデアは、施設と施設をつないで、また、にぎわいを生むような素晴らしいアイデアだと思います。活用できるか検討してみたいと思います。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆小川七夢議員

できたマンガを全国へ出版することは可能でしょうか。

◎地域振興部長

お答えいたします。本にして出版するというのも非常に良い方法だと思いますけども、今はインターネットが非常に普及しておりますので、例えば、市のホームページにそういったマンガを載せて読めるようにするとか、そういったいろんな形で全国に発信していくことは可能かなと思っています。マンガを作った際には、そういういろいろなことを検討してまいりたいと考えております。

○議長

ほかに再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、菊川小学校の一般質問を終了いたします。

【 菊川小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、岐山小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 岐山小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第2番、岐山小学校

伊藤結彩議員、濱田美優議員、室園笑里議員、福山留々菜議員、山根瑛太議員。

◆伊藤結彩議員

岐山小学校6年の伊藤結彩です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「安心・安全な町にするために」というテーマで提案します。周南市では各地で事件や野犬の被害が多発しています。事件は解決しているものの、それまでの防犯対策はできているのかと不安になります。また、周南市には、全国ニュースになるほど野犬がたくさんいます。これでは、安心・安全な町とはいえません。

そこで、安心・安全な町にするために自分たちでできることを考えたので一人ずつ発表します。私はポスターを作ります。そのポスターをはったら、道を通りしている人が「気をつけよう」という気になると思います。

◆福山留々菜議員

岐山小学校6年の福山留々菜です。私は、野犬を見かけたら、お家の人や学校の先生に伝えることが大切だと思います。

◆濱田美優議員

岐山小学校6年の濱田美優です。私は、事件に関する情報を知っていた場合、警察に連絡し、詳しく伝えます。なぜなら、事件の早急な解決につながるからです。

◆山根瑛太議員

岐山小学校6年の山根瑛太です。ぼくは、低学年と一緒に登校します。ぼくたちは高学年なので、低学年の子どもたちが安全に学校に来られるようにお手伝いをします。

◆室園笑里議員

岐山小学校6年の室園笑里です。私は、外出する際は、2人以上で行動します。1人より複数の方がより冷静な判断ができ、事件や事故に巻き込まれる可能性が低くなるからです。

◆濱田美優議員

私たちのテーマである安心・安全な町にするためには、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。それは、危険マップの作成です。まずは岐山小学校区のどこで事件が起き、どこで野犬が目撃されたかを記入し、どこが危険か確認することです。

◆山根瑛太議員

そこで、市長に提案します。

1つ目が、野犬を増やさない取組をはじめ、防犯や交通安全を呼びかけるポスターのコンクールを実施したら良いと思います。ポスターがあれば、小中学生だけでなく、幼児やお年寄りの方々にも伝えることができ、より安全な生活ができるようになると思います。

2つ目は、安心して生活するために、野犬の多い場所や注意が必要な場所を知ることができる「野犬出没マップ」を作成してみてもどうかと思います。

3つ目は、街灯を増やしたり、野犬パトロール隊による見回り等、防犯のまちづくりを進めるシステムづくりができないことと思っているのですが、いかがでしょうか。

以上の3つについて回答をお願いします。

◎市長

岐山小学校の皆さんから、安心・安全なまちにするためにというテーマから、防犯や野犬対策についてのご提案をいただきました。

野犬の問題は、周南市の大きな課題の一つであり、皆さんが、周南市の直面する問題について真剣に考えて、提案してくれたことを、大変うれしく思います。

野犬対策については、私が市長になってから、山口県庁や警察とこれまで以上に連携を強め、周南緑地の集中的な草刈りや夜間のパトロールの強化など、様々な新たな対策に取り組むことで、市民の皆さんから「野犬の群れをあまり見かけなくなった」との声をいただくなど、効果が出始めているところです。

動物愛護の観点からも野犬を増やさない取組として、むやみなエサやりや動物の遺棄を禁止する啓発について、地域の方々や県議会・市議会の議員の皆さんと一緒に取り組んでいるところです。

さて、ご提案のポスターコンクールは、ポスターを作る人も、また、それを見る人もお互いに理解しあうことができるとても良い手法だと思います。早速、コンクールの実施について検討したいと思います。

また、防犯や交通安全に係るポスターコンクールについては、山口県の防犯連合会や交通安全協会で行われていますので、こども議員の皆さんも応募してみてください。

次に、野犬の多い場所を示す「野犬出没マップ」を作ってはというご提案をいただきました。

情報は一人ひとりが持っているだけでなく、皆さんからいただいた提案のように、集め・活用することで、多くの人の役に立つものになります。

周南市では、市民の皆さんからいただく野犬出没情報などを集めて公開することで、市民の皆さんが野犬の被害に遭わないような取組ができないか検討しているところです。皆さんのご提案をしっかりと受け止めてまいります。

最後に、街灯を増やしたり、野犬パトロール隊による見守り等、防犯のまちづくりのシステムがつかれないかのご提案についてでございます。安心・安全なまちにする取組は大変重要なものであり、周南市では、市役所や警察、企業、そして民生委員や自治会、学校やPTAなど、様々な団体や個人が連携して防犯のまちづくりを進めるためのシステムを作っています。

皆さんの登下校時における安全確保のための立しゅうや夜間の防犯パトロール、高齢者の安否確認や詐欺の被害防止など、地域で安心・安全に暮らせる防犯のまちづくりのために、本当に多くの皆さんの協力をいただいています。

また、地域の自治会では、市の補助を活用して防犯灯を設置していただくなど、多くの関係機関や市民の方々の連携により防犯のまちづくりを進めています。

今後も引き続き、市民の皆さんと一緒に、安心・安全なまちづくりを進めてまいります。

それでは、担当部長から補足回答をさせます。

◎環境生活部長

補足説明をさせていただきます。野犬を増やさない取組としてのポスターコンクールの実施につきましても、飼っている動物を捨てない、それから一生を可愛がって育てるといような動物愛護の観点から実施を検討してみたいと思います。

続きまして、野犬出没マップにつきましても、今、市役所では道路や河川公園での異常、それから不法投棄などの情報を市民の皆様から頂く為に、スマートフォンから情報提供できるしゅうなん通報アプリというものを使っております。このアプリを野犬情報に活用して、常に最新の野犬情報が地図で見ることができないかというのを今検討しているところでございます。活用できるようになれば、速やかに野犬の出没状況などを市のホームページなどで提供していきたいと考えております。

最後に、防犯のまちづくり、防犯の街を進めるためのシステムづくりにつきましても、防犯には心のつながりが大切でございます。皆さんが通っている岐山小学校校区においては、岐山地区子ども見守り隊の人約60人が、毎日、登下校の時間に合わせて犬の散歩やウォーキングなどを行う中で見守っていただいております。皆さんを見かけたら挨拶、声かけをしていただいております。皆さんも元気に挨拶を返していらっしゃると思います。市では引き続き、いろいろな関係機関、団体などと連携しながら防犯のまちづくりを進めてまいります。

○議長

再質問はありませんか。

◆室園笑里議員

実施するのであれば、ポスターコンクールはいつから始められそうですか。

◎環境生活部長

早速、具体的な検討を進めて、可能であれば、来年度から実施できればと考えております。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、岐山小学校の一般質問を終了いたします。

【 岐山小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、須磨小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 須磨小学校4名、質問席に移動 】

質問順位第3番、須磨小学校

福本常葉議員、福田りさ議員、須田莉々子議員、一色優音議員。

◆須田莉々子議員

須磨小学校6年の須田莉々子です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは、「須金の魅力を生かして、たくさんの人が集まる暮らしやすいまちにするために」というテーマで提案します。

私たちの住んでいる須金地区は、錦川が流れ、自然が豊かで空気もきれいなところ です。

梨やぶどうを中心とした農園が広がり、収穫期には多くの人が訪れます。地域の人々は穏やかで仲が良く、みんなで協力し助け合い、ゆったりと安全に暮らせる町です。ですが、住民の高齢化が進み、空き家が増え老朽化が目立ってきていますし、車がないと不便な状況にあります。

さらに、現在須磨小学校全校児童は14人ですが、児童数がどんどん減っていくことも心配しています。

そこで、須金にたくさんの人が何度も繰り返し来てくれて、地域の人々と仲良くすごせる暮らしやすい町になるように、自分たちにできることはないかと考えましたので、一人ずつ発表します。

私は、近くに行くときは歩いて行こうと思います。そうすることで、環境を守り、町の人々とさらにつながりを深めることができるからです。

◆福本常葉議員

須磨小学校6年の福本常葉です。私は、そのために地域の人々に進んであいさつをしたり、話をしたりしてつながりを深めようと思います。

◆一色優音議員

須磨小学校6年の一色優音です。ぼくは、そのためにゴミひろいをし、美しい須金の自然を守りたいと思います。

◆福田りさ議員

須磨小学校6年の福田りさです。私は、そのために須金のよさや、楽しいイベントなどを、知り合いに話して知ってもらおうと思います。

◆須田莉々子議員

私たちのテーマである、「須金の魅力を生かして、たくさんの人が集まる暮らしやすいまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、須磨小学校でできることについて発表します。

それは、総合的な学習の時間で進めている、須金のデイサービスセンターとの交流や、須金和紙体験、農園体験を深めながら継続し、広く発信していくことです

◆福本常葉議員

次に、学校と地域が協力してできることについて発表します。

それは、須金に新しくできた清流公園を活用して、「夏休み清流フリマフェスタ」を開くことです。川遊びを楽しみながら、フリーマーケットなどの出店や、和紙などの須金の特色を生かしたコーナーを工夫することで、須金の魅力を生かして人を集めることができると思うからです。

◆一色優音議員

また、地域でできることについて発表します。

それは、須金フルーツランドの農園体験ツアーをすることです。梨の袋かけや、ブドウの木を剪定したあとに、枝を集める仕事など、農園作業の体験ができるツアーを企画することで、収穫時期以外でも人を集めることができ、興味をもった人は繰り返し須金に訪れるのではないかと考えました。

◆福田りさ議員

私たちは、須金地区を盛り上げることで、周南市全体を盛り上げたいと考えています。

そこで市長に提案します。

1つ目が、清流公園でイベントを開けるように、水道とトイレをつけてほしいということです。

2つ目は、イベントや農園体験などで繰り返し須金を訪れる人のために、空き家を気軽に泊まれるように活用したり、崩れそうで危険な空き家を解体したりするために、空き家の所有者に連絡を取ってほしいということです。

3つ目は、生活交通「スマイル号」の便数を増やしたり、イベントや農園を巡るコースを調整したりしてほしいということです。資料を見てください。現在、「スマイル号」が通る道はこの道だけです。ほとんどの農園はバス通りに面していません。スマイル号のコースを調整すると、車の運転ができない地域のお年寄りも、地域外の方々も、だれでもイベント会場や多くの農園どこへでも行きやすくなると思うのですが、いかがでしょうか。

以上3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

須磨小学校の皆さんから、「須金の魅力を生かして、たくさんの人が集まる暮らしやすいまちにするため」の、ご提案をいただきました。

その中で特に私が感心したのは、皆さん自身が須金地区の美しい自然と、そこに住む方々の豊かな心を感じ、誇りに思っておられることです。

私は、「シビックプライド」というものが、まちづくりには欠かせないと考えておりますので、皆さんの提案は、まさに私の目指すまちづくりであり、大変うれしく思っているところです。イベント等通じて、たくさんの人が何度も繰り返し訪れたいくなるまちにすることは、地域も元気になるし、将来的には移住にもつながる大変大切な取組だと思えます。

須金地区では、既に人気のイベントもある中で、清流公園を活用した新たなイベントを開催したいという皆さんの提案にはとても元気が感じられ、私も大きな期待をしております。

清流公園は、山口県が整備した公園なんですね。水道やトイレを整備したいという皆さんの思いについては、県と協議をしなければならないと思います。まずは、公園の近くにある市の施設を活用していただきたいと思います。

次のご提案である空き家の対策もとても重要な課題です。

周南市では空き家が増えていることから、老朽化して危険な空き家への対策として、所有者に連絡を取って、解体等の依頼をしております。また、活用できる空き家については、活用したい空き家の情報をまとめて発信したり、空き家を活用した移住や起業の支援など、様々な取組を進めています。

今後も、空き家の所有者へ連絡を取るとともに、様々な観点から、空き家の利活用の取組を進めていきたいと思っております。

次に生活交通についてですが、「すがねスマイル号」と「ミニすがねスマイル号」は新たな交通手段として本年度から運行しており、須金地区の皆さんの通院や買い物などの移動手段として、とても重要な役割を担っております。

これからも、須金地区がさらに暮らしやすい、住み続けたいまちとなるよう、地域の皆さんと一緒に、利用しやすい「スマイル号」となるよう検討していきたいと思っております。それでは、担当部長から補足回答をさせます。

◎環境生活部長

危険な空き家について補足説明させていただきます。危険な空き家については、先ほど市長が申しましたように所有者の方に連絡を取って、安全な状態を保ってもらうようお願いをしております。しかしながら、解体とか修繕をしなければいけない時には、多額の費用がかかる場合がございます。そうした場合には、すぐにはできずに時間かかる場合もございます。そのため市としては、そういった危険な空き家が発生しないように、現在、職員がいろいろな市内を回って空き家調査を実施しているところでございます。

◎地域振興部長

空き家の対策ということで、少し補足をさせていただきます。市長も申しあげましたように、空き家の情報発信ということでございますけれども、市の方では、まだ住めるような空き家につきましては、空き家情報バンクというホームページを開設しております。空き家を借りたい人、買いたい人、また、貸したい人、売りたい人、そういった人との出会いの場ということで活用を呼びかけているというところでございます。

また、空き家に住みたい人を案内したり、空き家の利活用について考えたり、そういったことを地域の人にお願いをしております、「里の案内人」という制度を作っております。須金にも「里の案内人」の方がいらっしゃいますので、ご相談していただけたらと思っております。皆さんの知っている方々で、空き家を持っている人、また、利用したいという方がいらっしゃいましたら、この制度のことをぜひ呼びかけていただきたいと思いますと思っております。

○議長

再質問はありませんか。

◆福本常葉議員

トイレの設置が難しいのであれば、清流公園のイベントのとき、市民センターのトイレを土日でも使えるようにしてもらうことはできるでしょうか。

◎地域振興部長

お答えいたします。市民センターは、土日でも利用可能でございますので、そういったことがあればご相談いただきたいと思います。

○議長

ほかに再質問はありませんか。

◆須田 莉々子議員

農園を巡るコースの他にも、イベントの時に、須金と徳山駅を直接行き来するシャトル便を出してもらうことはお願いできるのでしょうか。そうすると、須金から市街地のイベントに参加するにしても、市街地から須金のイベントに参加するにしても、便利だと思うのですがいかがでしょうか。

◎地域振興部長

お答えいたします。大きなイベントではですね、車がたくさん来て混雑することもございますので、駐車場と会場までをシャトルバスで結んだりしているイベントもございます。おっしゃったように須金は徳山駅から非常に離れておりますので、そういったことをやった方がいいというご提案でございますけれども、実際に梨ぶどう祭りなどをやってらっしゃる地域の方々とも相談をさせていただきたいと思っております。

○議長

須磨小学校のこども議員の皆さんに申し上げます。一般質問の時間は経過しましたが、今回、特に一般質問をこのまま続けることを認めます。ほかに再質問はありませんか。

◆福田りさ議員

崩れそうな空き屋が、本当に崩れてしまったときの対処はどのように考えていらっしゃいますか。

◎環境生活部長

そうならないように努力は致しますけども、おっしゃられるように崩れた場合、例えば、崩れた家屋が道路をふさいでしまったと、しかしながら、所有者がすぐに対応することができないといった場合には、市役所の方で道路にある崩れた家屋を敷地内に戻して、通行のできるように、または安全を確保できるように対処致します。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、須磨小学校の一般質問を終了いたします。

【 須磨小学校4名、議員席に移動 】

○議長

一般質問の途中ですが、ここで暫時休憩いたします。

次の会議は、14時50分から再開いたします。

14時35分休憩

14時50分再開

○議長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、福川南小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 福川南小学校5名、質問席に移動 】

質問順位第4番、福川南小学校

福江百花議員、岩崎幸羽議員、石田悠雅議員、阿部和希議員、藤井美優議員。

◆福江百花議員

福川南小学校6年の福江百花です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「きれいで明るいまちにするために」というテーマで提案します。

私たちが住む福川南地区は、校外学習や休日などに活用することがある福川駅や、夏にはにぎわう長田海岸がある自然豊かなまちです。しかし、福川駅や長田海岸の施設の老朽化やごみ問題に対して環境整備の必要性を感じています。

そこで、ポイ捨てされているゴミがなくきれいな状態が持続できれば、地域住民が喜ぶまちになると考え、このテーマに決めました。福川駅を中心に、みんなが喜ぶ美しいまちにしたいと思います。

このテーマをめざして、自分たちにできることを考えたので、一人ずつ発表します。

私は、そのために、福川駅や長田海岸のゴミ拾いをしたいと思います。

◆岩崎幸羽議員

福川南小学校6年の岩崎幸羽です。私は、そのために、福川駅や長田海岸を利用したいと思います。

◆石田悠雅議員

福川南小学校6年の石田悠雅です。ぼくは、そのために、ポイ捨てをしないようにします。

◆阿部和希議員

福川南小学校6年の阿部和希です。ぼくは、そのために、福川駅にある自転車置き場の整頓をしたいと思います。

◆藤井美優美議員

福川南小学校6年の藤井美優です。私は、そのために、福川駅の窓ふきをしたいと思います。

◆岩崎幸羽議員

私たちのテーマである、「きれいで明るいまち」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

まず、福川南小学校でできることについて発表します。

それは、ポスターや新聞を作成することです。ポイ捨て禁止ポスターをゴミが多く見られるところに掲示することで、福川駅や長田海岸の環境整備につながると思います。また、「きれいで明るいまち」にしたいという思いを含めた新聞を作成することで、多くの人に思いを知ってもらえると思います。

◆石田悠雅議員

次に、学校と地域が協力してできることについて発表します。

それは、名所マップ作りです。福川・福川南地区の良さが分かるようなマップを長年住んでいらっしゃる地域の方と作成するのです。駅を降りて、名所を通るウォーキングコースを提案することができ、福川駅を利用する人も増えると思います。

それと地域の人たちと協力して、行事によって福川駅に飾りつけをしたいと思います。クリスマスのイルミネーションや七夕の短冊など飾りつけをすることで、福川駅に集う人が増えていくと考えました。

◆阿部和希議員

ぼくたちは、福川南地区を盛り上げることで、周南市を盛り上げたいと考えています。

そこで、市長に提案します。

1つ目は、きれいで明るいまちにするために作成したポスターや新聞を市の広報やホームページに掲載してほしいということです。そうすれば、福川南地区のめざすまちの姿やおすすすめウォーキングコースなどが多くの人に伝わり、福川駅に人が集うようになると思います。

2つ目は、福川駅や長田海岸で「スポゴミ甲子園」を開催してはどうかということです。スポゴミ甲子園とは、ゴミ拾いをスポーツ感覚で行おうと開催されているものです。あらかじめ定められたエリアで、制限時間内にチームでゴミを拾い、ゴミの質と量でポイントを競い合うスポーツです。子どもと大人と一緒に盛り上がり、きれいになっていいと思います。実際に校内で「スポゴミ甲子園」を開催したところ、グループごとに協力して楽しんでゴミ拾いすることができました。「またやりたい」との声も上がっているくらいです。

◆藤井美優議員

3つ目は、地域住民や福川のまちを訪れる人のために、福川駅のイメージアップを図ってはどうかということです。駅の壁面に福川のシンボルであるラディくんや若山城など、福川らしいものをデザインすることです。また、駅舎の修繕や殺風景な掲示板には、福川校区の名所マップを提示するなど改善を図りたいです。あと、防府方面に行く際は階段をのぼり降りする必要があるのにエレベーターもなく、駅員もいないのでバリアフリーにしてもらいたいです。そうすることで、様々な人が駅を利用するようになるのではないのでしょうか。

以上3つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

福川南小学校の皆さんから、きれいで明るいまちにするための様々なご提案を頂きました。

実際の活動を提案に結び付けたスポゴミ甲子園は、とても説得力のある素晴らしい提案だと思いました。

それでは、ポスターや新聞を市の広報やホームページで宣伝することについてお答えします。

地域の皆さんが、「自分たちのまちはこんなまちでありたい」と願い、それを実現していくためには、今の状況や、なりたい将来のまちの姿を多くの人に知ってもらうことが重要だと思います。

このため、皆さんの提案である市の広報やホームページの活用についても、掲載に向けた検討をしてみたいと思います。

次に、スポゴミ甲子園の開催についてです。

ゴミを拾って、まちをきれいにすることは、環境のためだけでなく、まちへの誇りであるシビックプライドの醸成を図ることにもつながるものだと思います。

私もこれまで清掃活動に積極的に取り組んでまいりました。きれいになった公園や海岸を見ると、大きな達成感があり、「やって良かった」と思います。

福川駅や長田海浜公園を掃除するには、たくさんの人の協力が必要であり、また、それを続けていく努力も大切となってまいります。

こうしたことから、掃除を楽しむという観点を取り入れ、健康にもよく、心も、まちもきれいになる皆さんの提案は、これからのまちづくりに重要な要素となるのではないかと感じましたので、地域の方々と実施方法について、研究していきたいと思います。

次に、福川駅のイメージアップについてのご提案です。

駅は、鉄道から路線バスやタクシー、自転車などに乗り換える拠点であり、多くの方が行き交う交流の場として、そして、地域のシンボルとして、これからのまちづくりにおいて大変重要な

施設であることから、周南市では、駅を中心としたまちづくりを進めることとしています。

福川駅は、今から約120年前に開業した長い歴史のある駅で、多くの皆さんに利用されています。皆さんの提案であった駅のイメージアップは、福川地区のまちづくりにとって魅力的なとても素晴らしい考えだと思います。

壁面のデザインやバリアフリー化について、福川駅を管理しているJRと協議しながら、さらなるイメージアップが図れるよう、取り組みたいと考えています。

それでは、担当部長から補足回答をさせます。

◎環境生活部長

ポスターや新聞を市で宣伝してほしいというご提案について補足をさせていただきます。市では、毎年度、ポイ捨て禁止啓発ポスターという形で募集をしていて、その作品を市のホームページ、それから市の施設で掲示させていただいております。応募の対象者は、今年度が小学生、来年度は中学生という形で募集をしておりまして、皆さんは来年度、中学生になられますので、来年度、中学生になった時に、是非応募していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

次に、新聞につきましては、市役所本庁舎には市民ギャラリーがあって、市民の皆さんが創作した作品を掲示、発表する場所がございますので、新聞等を作成されましたら、ギャラリーで展示することを検討していただきたいと思います。

◎都市整備部長

福川駅のイメージアップについてでございますが、現在、市としても鉄道駅、交通結節点の整備に取り組んでおります。今の福川地区におきましても福川駅は大変重要な地域資源であると思っておりますので、福川駅のイメージアップについてもJRと一緒に考えて取り組んでまいりたいと思っております。

○議長

福川南小学校の議員の皆さんに申し上げます。15分を経過しそうでありますが、特別に一般質問をこのまま続けることを認めます。再質問はありませんか。

◆藤井美優議員

駅舎を新築することは可能ですか。また、可能なら、そのデザインを公募してもらえませんか。

◎都市整備部長

駅舎のリニューアルについてでございますが、駅舎につきましてはJRの方が所有されておられます。こうしたことから、JR いろいろなお話をさせて頂いてですね、どのような形で駅がリニューアルできるかとか、いろいろなことについてJRとお話しさせていただけたらと思っております。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆石田悠雅議員

スポゴミ甲子園を開催するにあたって、市で宣伝してもらえますか。

◎環境生活部長

実施の際には、しっかり宣伝させていただきたいと思います。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、福川南小学校の一般質問を終了いたします。

【 福川南小学校5名、議員席に移動 】

○議長

次に、八代小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 八代小学校4名、質問席に移動 】

質問順位第5番、八代小学校

高原水晶議員、吉積光汰議員、徳本愛優議員、中村碧希議員。

◆高原水晶議員

八代小学校6年の高原水晶です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

ナベツルの渡来地である八代では、昔からナベツルと共存するために自然保護活動、清掃活動など様々な活動を行っています。これらの活動により、八代の自然環境は長い間保たれ、ナベツルが毎年渡来し、希少な水生生物や野鳥も多く生息しています。

しかし、外来種や野犬の侵入、八代地域を通行する人のゴミのポイ捨てという問題が発生しています。

今後もナベツルをはじめ、八代の豊かな自然を守り続けていくために、一人ひとりができることを発表します。

ぼくは、米作りや、タガメ・ギフチョウの飼育などの体験活動を通して、八代の豊かな自然をしっかりと味わってきました。今後は、そのすばらしさを後輩や多くの方々に伝えていき、八代の自然をみんなで守っていく活動を続けていけるようにします。

◆吉積光汰議員

八代小学校6年の吉積光汰です。ぼくは、学校で行っている「水辺の教室」や「野鳥観察会」による八代の自然環境の調査活動を継続し、八代の自然環境の実態把握に努めていきます。

◆徳本愛優議員

八代小学校6年の徳本愛優です。私は、自然調査活動の成果を様々な方法で広め、多くの方々に八代の自然のよさや課題を知っていただきます。

◆中村碧希議員

八代小学校6年の中村碧希です。私は、登校時の「クリーン作戦」や地域の「清掃活動」により、美しい八代の自然環境を守っていけるように努めていきます。

◆高原水晶議員

ぼくたちのテーマである「豊かな自然を守り続けるまちづくり」に向けて、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることを考えました。

まず、学校の取組です。昨年度、今年度の調査で、外来種の「アメリカザリガニ」が八代に生息していることが分かりました。その数は増える傾向にあり、今後八代の生態系に悪影響を及ぼす危険性があります。また、新たに他の外来種が侵入する可能性もあります。そこで、これからも八代における外来種の生息状況を把握し、「水辺の教室」でお世話になっている環境パートナ

一の方と対応について検討していきます。

◆吉積洸汰議員

次に、地域の取組です。八代では、「減農薬」という方法で米作りが行われ、タガメ、オヤニラミなどの希少な水生生物も生息できる環境を守ることに努めています。このことは、ナベツルのエサを豊富に保つことにもつながっています。今後も、ナベツルのねぐら整備などの活動とあわせて、今の自然環境を守り続ける取組を地域全体で進めていく必要があります。

◆中村碧希議員

他にもゴミ問題への対応があります。私たちが調査したところ、県道沿いにタバコやおかしの袋、ペットボトルなどのゴミが多く落ちていて、これらは県道を通行する方による「ポイ捨て」であると考えられました。外来種のアメリカザリガニや、八代でも見られる野犬も、タバコやおかしの袋と同じように、八代以外の方が捨てたものである可能性が高いです。

こうした外来種や野犬の問題についても、ゴミのポイ捨てと一緒に発信していかなければならないと考えています。そして、これらの問題は、八代だけでなく周南市全体の問題であるとも考えています。

◆徳本愛優議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、アメリカザリガニを駆除するための「カニかご」の設置です。今できることとして、カニかごを設置し、アメリカザリガニを捕獲して八代の自然環境を守っていきたいと考えていますがいかがでしょうか。

2つ目は、生き物の飼育放棄を含めた「ポイ捨て」禁止を啓発する看板の設置です。看板を設置し、多くの人にポイ捨てが大切な自然を破壊することにつながることをご理解いただく必要があると考えていますがいかがでしょうか。

以上2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

八代小学校の皆さんから、豊かな自然を守り続けるまちづくりをテーマとして、八代地区の自然を未来につなげていくためのご提案を、素晴らしい資料を使いながら頂きました。ありがとうございます。

すでに皆さんは、地域の方々と連携してナベツルの保護活動や、ギフチョウの飼育・放チョウなど、自然保護活動に積極的に取り組んでおられることから、皆さんならではの提案だと思います。

最初に、外来種であるアメリカザリガニによる生態系への影響についてのご提案をいただきました。自分たちの調査によってアメリカザリガニの存在を知り、さらに外来種であることに気づき、その悪影響を取り除くために考え、行動しようとするは大変素晴らしいことだと思います。

外来種が入り込むことによって、在来種の減少や絶滅、自然環境の変化などを引き起こしたり、生態系に悪影響を及ぼしたりします。

国では、外来種による被害を防ぐために、「入れない」「捨てない」「広げない」の外来種の被害を予防するための三原則を定めています。

周南市としてもこの三原則を多くの人に周知するとともに、アメリカザリガニの防除については、捕獲するためのかごの設置を含めて検討したいと思います。

次に看板の設置についてのご提案を頂きました。

生き物の飼育遺棄を含めたゴミのポイ捨てが多いことはとても残念なことです。

周南市では「周南市空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止条例」を制定し、市民や団体、事業所などが一体となって、清潔で美しいまちをめざした取組を進めているところです。

皆様のご提案にあった看板については、既に市で制作し、要望をいただいた自治会に設置していただいております。また、市の施設でも設置をしていますので、皆さんが設置したい場所があれば、またお知らせください。対応してまいります。

これからもポイ捨てのないまちづくり進め、この素晴らしいまちを未来につなげていく取組を進めていきたいと思っております。

それでは、担当部長から補足回答をさせます。

◎教育部長

カニかごの設置について、補足回答させていただきます。八代小学校の皆さんは、ナベツルやギフチョウの保護活動などに積極的に取り込まれており、中でも毎年継続的に行われている水辺の教室では、水生生物の観察を通じて八代地区の豊かな自然環境の変化を調査し、そして統計としてまとめておられます。このように継続的に研究されておられる皆さんだからこそ、カゴを設置した効果の検証もできると考えておりますので、早速、校長先生と相談して、カニかごの設置に向けた検討を進めてまいりたいと考えております。

○議長

再質問はありませんか。

◆高原水晶議員

ゴミだけでなく、外来種、野犬を含めた「ポイ捨て」は市全体の問題だととらえています。そこで、ゴミを拾う、駆除するといった取組だけでなく、市として「ポイ捨て0宣言」をするなど、より積極的な取組が必要だと考えますが、いかがでしょうか。

◎環境生活部長

ポイ捨て禁止につきましては、条例で禁止したり、看板を設置するなどによる注意喚起、それから不法投棄の防止などに努めているところです。近年、海洋プラスチックゴミが世界的に大きな問題となっており、その発生源の一つとしてポイ捨てが挙げられております。このことから市といたしましては、海洋プラスチックゴミ対策を考えていく中で、ポイ捨てゼロ宣言を検討していきたいと考えております。

○議長

他に再質問はありませんか。

◆吉積洸汰議員

八代の自然環境を守っていくために必要なことは、多くの方々に八代の自然のすばらしさを知っていただくことだと考えています。そこで、野鶴監視所、鶴いこいの里交流センターの展示スペースにナベツルや希少生物についての書籍や資料などを展示する場所を拡充したり、展示物を定期的に更新したりするとよいと考えますが、いかがでしょうか。

◎教育部長

貴重なご提言ありがとうございます。教育委員会といたしましても皆さまと全く同じ考え方を持っておりますので、是非とも、野鶴監視所や鶴いこいの里交流センターの展示物の充実にも努め

てまいりたいと考えております。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、八代小学校の一般質問を終了いたします。

【 八代小学校4名、議員席に移動 】

○議長

次に、周陽小学校の皆さん、質問席に移動してください。

【 周陽小学校6名、質問席に移動 】

質問順位第6番、周陽小学校

友森美莉愛議員、生駒純一朗議員、沖本明子議員、松井璃子議員、清水実緒議員、中井由佳議員。

◆中井由佳議員

周陽小学校6年の中井由佳です。一般質問をいたします。初めに、周南市の未来が、「こうだったらいいな」という姿を、希望を込めて発表します。

私たちは「あいさついっぱい、笑顔いっぱい ～人と人がつながる周陽地区を目指して～」というテーマで発表したいと思います。

私たちが住む周陽地区は、多くの公園、学校、総合病院、飲食店、アパートなどが集まっており、生活には便利な場所です。また、小学校区を東西に貫くグリーンベルトと名付けられた歩道はトリムコースも兼ねていて、健康づくりに利用する人や散歩する人も多く、すれ違う時にはあいさつを交わす様子も見られます。

しかし、周陽小学校の児童数は減少傾向にあります。また、地域の人々が利用していたスーパーマーケットが閉店し、寂しい雰囲気になっています。公園を利用する人も少なくなっているように思います。

そこで、「周陽に住みたい、住んでよかったと思えるまち」「住んでいる人たちが、気軽にあいさつをしたり、話したりできる、居心地の良いまち」にするためにはどうすればよいかを考えました。

まず、この願いを実現させるために、自分たち一人ひとりができることを考えましたので、一人ずつ発表します。

私は、日頃、お世話になっている人たち、例えば私たちの安全を見守ってくださるスクールガードリーダー、周陽コミュニティの方々、帰り道で「おかえりなさい」と声をかけてくださる近所の人の名前を覚えようと思います。

◆生駒純一朗議員

周陽小学校6年の生駒純一朗です。ぼくは、地域の公園で友達と一緒にしっかり遊ぼうと思います。そして、ゴミが落ちていたら進んで拾い、美しいまちにしたいと思います。

◆沖本明子議員

周陽小学校6年の沖本明子です。私は、あいさつの大切さを下級生に態度で示したり、登下校

の時に会った人には気持ちの良いあいさつをしたりしようと思います。

◆松井璃子議員

周陽小学校6年の松井璃子です。私は、周陽地区の人たちとつながりを持つために地域の行事には、進んで参加したいと思っています。12日の日曜日には、周陽コミュニティ広場でどんど焼きが行われました。書き初めを持って行ってどんどの中に入れたり、地域の人と話をしたりしながら楽しく過ごすことができました。

◆清水実緒議員

周陽小学校6年の清水実緒です。私たち6年生が、心掛けている「心をこめて、大きな声で、自分からするあいさつ」を他の学年へ、そして地域の人たちへと広げていきたいと思っています。

◆友森美莉愛議員

私たちのテーマである、「あいさついっぱい、笑顔いっぱい～人と人がつながる周陽地区～」にするために、一人ひとりができることの他にも、学校や地域でできることは何かを考えました。

1つ目は、周陽小学校で6年間続いている「きれいきれい集会」の実施方法を改善しながら継続していくことです。「きれいきれい集会」は、縦割り班で、周陽地区を清掃する活動です。ただゴミを拾うだけでなく、拾ったゴミでビンゴをしたり、クイズを解いたりしながらゴミを集めていきます。校区内を活動範囲にしているのですが、保護者や地域の方々も一緒に協力してくださるので安心して活動できます。今後も地域に広く呼び掛けて協力してくださる方を増やしていきたいです。継続していくことが大切だと考えているので、周陽地区の環境や様子に関心を持ちながら続けていきたいと考えています。

◆沖本明子議員

2つ目は、あいさつの大切さ、あいさつを通してだれかと心が通い合う楽しさを、ポスターを制作して周陽地区に発信していくことです。そして、まず、自分たちが主体的に実践していきたいと思っています。

◆清水実緒議員

そこで、市長に提案します。

1つ目は、周陽小学校から地域へ情報発信をするための小さい掲示板を設置してほしいのです。その掲示板には、あいさつの大切さを呼び掛けるポスターを掲示して、地域の方々にも一緒に周陽地区のあいさつ運動を盛り上げてもらいたいと考えています。また、「周陽フェスタ」など、地域の人に参加していただきたい行事がある時は、手作りの新聞を作って広く呼びかけることも考えられます。周陽小は来年度開校50年の大きな節目を迎えます。これを機に地域と周陽小が一層つながったり、参加してくださった人たちがお互いに知り合ったりできるといいです。そして、そのことが、周南市へと広がるといいなと思っています。

◆生駒純一朗議員

2つ目は、周陽地区やそこに住む人たちの魅力を伝えるフリーマーケットやワークショップを行う「ふれあいイベント」を開催してはどうでしょうか。周陽地区には、小、中、高校の3校が集まっているので可能な範囲で協力することができると思います。参加することで知り合いが増え、子どもからお年寄りまで、様々な年代の人とつながることのできる内容を工夫するとよいのではないのでしょうか。場所としては、グリーンベルトや「スーパーたから」の閉店後の跡地や公園の利用が考えられるので、環境整備をしていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

以上2つのことについて、回答をお願いします。

◎市長

周陽小学校の皆さんから、人と人がつながることの視点から周陽地区のまちづくりについて、

2点のご提案をいただきました。

開校50周年の大きな節目に地域と周陽小学校がより一層つながる・・・とても素晴らしい考えだと思います。

「住みたい、住んでよかったと思えるまち」であるためには、人と人がつながり、暮らしの中で安心感を育む取組が必要となります。

周陽地区は暮らしていく上での、そのような「つながり」や、「安心感」のある素晴らしいまちだと思います。

それでは、掲示板の設置についてのご提案にお答えいたします。

周陽地区では学校や市民センターの掲示板を活用した情報発信などが積極的に行われていますが、こうした取組は、地域の方々との一体感を育むうえで、とても良い方法だと思います。

新たな掲示板の設置については、今後、具体的に検討してまいりたいと思います。まずは、皆さんの意見を参考にしながら、近くの公共施設等で学校の情報を、より効果的に発信できるような方法について研究してみたいと思います。

次に、ふれあいイベントについてのご提案にお答えします。

周陽地区では、地域の皆さんが楽しいイベントをたくさん開催しておられます。

人と人がつながる新たな「ふれあいイベント」のアイデアについても、こうしたイベントに盛り込み、さらに拡充することができないか、地域の方々と相談し、可能なものから取り組んでいきたいと思います。

また、イベント会場の環境整備については、会場として考えられる公園の整備は、現在もしっかり取り組んでおりますので、その他の新たな整備については、イベントの内容や周陽地区のまちづくりについて、地域の方々との協議を重ねることで検討を進めていきたいと思っております。

それでは、担当部長から補足回答をさせます。

◎地域振興部長

2点目のふれあいイベントについて、少し補足の回答させていただきます。現在、各地域ではいろいろなイベントが行われておりますけども、周陽地区でも10月には周陽祭り、1月には先ほど紹介されたどんど焼きがでありますとか、2月にもふれあいウォーク、それから3月には市民センター祭りなど、たくさん開催されております。議員からご提案のありましたいろいろな方々がつながっていくような楽しいイベントということで、地域の中でもいろいろと考えていらっしゃると思っておりますので、そういったイベントと一緒にやってみるというのも一つの方法ではないかと思っております。

昨年、初めて周陽秋祭りが開催されました。周陽公園で行われましたが、地域を挙げての大きなイベントであったと思います。こうしたイベントの中で、皆さんの意見も企画に入れていけば、もっとお祭り自体も盛り上がるのではないかと考えております。開催場所については、いろいろ考えられますけども、周陽地区でイベントを開催される中で、そういうイベントと組み合わせることで検討していきたいと思っております。

○議長

再質問はありませんか。

◆友森美莉愛議員

ありがとうございます。掲示板の設置をしていただけるのなら、地域の方の往来の多いグリーンベルトにしていきたいのですが、いかがでしょうか。

◎教育部長

お答えいたします。看板の設置についてでございますけれども、地域の方々とはつながり、一体

感を育むために、周陽小学校の様々な取組を情報発信することに関しましては、今後いろいろな方法を検討してまいります。その検討の中で、新たな掲示板が必要だということになった場合には、議員ご発言のとおり、グリーンベルトは学校と地域をつなぐ本当に潤いの空間だと思えますので、非常に効果的だと考えております。これらの設置に関しましては、地域の方々としっかり協議を重ねてまいりたいと思っております。

○議長

周陽小学校のこども議員の皆さんの残り時間は残り少なくなりましたが、特別にこのまま継続することを認めます。他に再質問はありませんか。

◆中井由佳議員

もし、「ふれあいイベント」を実施していただけるのなら、私たちも出店する側で参加したいので、来てくれた人たちの間につながりが生まれ、楽しく過ごせるワークショップやフリーマーケットの内容について、アドバイスをしていただけませんか。

◎地域振興部長

お答えいたします。周陽地区ではいろいろなイベントを開催されており、地域の皆さん方が主体となって取り組んでいらっしゃいますが、市民センターにおいてもしっかり協力をさせていただいております。先ほどありましたように、皆さんが新しいことをしたいということであれば、地域の方々、そして市民センターの職員と一緒に協力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○議長

他に再質問はありませんか。

【 議員から「ありません」の声あり 】

再質問なしと認めます。

以上で、周陽小学校の一般質問を終了いたします。

【 周陽小学校6名、議員席に移動 】

○議長

これをもって、一般質問を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

ここで、市長からあいさつがあります。

◎市長

こども議員の皆様、大変お疲れ様でございました。いかがでしたでしょうか。終わってホッとされているのではないのでしょうか。私は皆さんの発言を聞いて、その言葉も、内容も、そして態度も、とてもしっかりしているのに驚きました。そして、とても頼もしく思いました。また真っ直ぐに見つめるまな差し、またその姿、これが大変素晴らしいと思えました。「周南市が大好きです」という言葉がございました。皆さんの発言を聞いて、このまちを未来につないでいくための市長としての責任というものを改めて強く感じたところです。

本日、皆さんから頂きました例えば文化の発信、安心・安全、地域の活性化、まちをきれいにする、自然保護、人とのつながりなどの提案、これらの一つ一つが大変素晴らしいもので、まちを大きく変えていく一歩になると思います。まちづくりには、本日のような提案がとても大切だと思います。これからも市民の一人として、どんどん皆さんの声を届けていただきたいと思います。私たちはそれをしっかりと受け止めて、この素晴らしいまちを未来につないでいきたい

と思います。本日は本当にありがとうございました。以上です。

○議長

私の方から、一言あいさつをいたします。皆さんは、今日のこども議会に備えて、しっかりと学校で学習されたことだろうと思います。その学習の成果が発揮できましたか。

皆さんが、日頃から心に留め、身近に感じている疑問や課題、そして未来の周南市にかける思いをしっかりとお聞きしました。もちろん、実現できることやできないこともあります。次の時代を担う皆さん方のために、議会も明るく住みやすいまちづくりに、市長とともに協力しながら取り組んでいきます。

皆さんも満18歳になると、政治に参加する権利である選挙権があり、市民の代表を選ぶことができます。そして、満25歳になると市議会議員に立候補することもできます。是非、今日のこども議会を体験した皆さんの中から、将来、議員をめざす方が出ることを期待しております。一緒にがんばりましょう。今日はありがとうございました。

○議長

以上で、会議を閉じます。

令和元年度周南市こども議会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。

午後3時45分閉会

ここに署名する。

周南市こども議会 議員 重 國 晃 生

周南市こども議会 議員 中 井 由 佳